

第 42 回シクロデキストリンシンポジウム開催報告

第 42 回シクロデキストリンシンポジウムを、2026 年 9 月 10 日（木）・11 日（金）の 2 日間、神戸大学大学院医学系研究科メドテックイノベーションセンターにおいて開催いたしました。前日は大雨であったことから天候が心配されましたが、両日共に天候にも恵まれ、合計 130 名の方々にご参加いただき、活発な質疑応答が行われました。本シンポジウムでは、基礎研究から応用研究まで多岐にわたる研究成果が発表されました。また、海外からの参加者を含め、国内外の研究者による交流の機会となり、シクロデキストリン研究のさらなる発展につながる有意義な学術集会となりました。

本シンポジウムは「アットホーム」という合言葉をモットーに毎年開催されておりますが、今回はスポーツでの交流を試み、開催前日の 9 月 9 日（水）には、参加者間の親睦と交流を目的として COSANA テニスアカデミーのコートをお借りし、テニス交流会を開催しました。

シンポジウム 1 日目は、午前中に 6 件の一般講演が行われた後、ランチョンセミナーでは株式会社シクロケム様より、最近注目のパーソナリゼーションのお話がありました。午後からは 24 件のポスター発表が行われました。その後、次回シンポジウム実行委員長の森部久仁一先生（千葉大学）による第 43 回シンポジウムのご案内があり、続いて、特別招待講演、学会賞、奨励賞、産業技術賞の受賞講演が行われました。特別招待講演は上智大学の早下隆士先生が「超分子シクロデキストリン複合体

体が示す多点認識と細菌識別」という演題でご講演されました。また、学会賞は同志社大学の

北岸宏亮先生が受賞され、「メチル化シクロデキストリン二量体による水溶性ヘムタンパク質モデル錯体の構築」と題した受賞講演が行われました。さらに、奨励賞は北海道大学の宮岸拓路先生が受賞され、「メチル化シクロデキストリンからなる連結型ロタキサン構造を活かした動的機能性材料への展開」という演題でご講演されました。最後に、産業技術賞はハウス食品 G 本

社の朝武宗明氏が受賞され、「 α CD の新構造を利用した CF 技術の製品応用および食品、化粧品領域における普及貢献」という演題でご講演されました。

懇親会では、優秀発表者賞、ポスター賞、最優秀女性発表賞の受賞式が行われました。優秀発表者賞は、磯田悠仁氏（同志社大学理工学研究科）が受賞し、ポスター賞は岡野菜々美氏（熊本大学生命科学研究科）、宮前祐奈氏（熊本大学生命科学研究科）が受賞し、最優秀女性発表賞は岡野菜々美氏（熊本大学生命科学研究科）が受賞しました。また、卓球大会も行われ、会場全体が和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。今回のシンポジウムでは学術とスポーツを融合させた新たな交流の場が創出されました。



2 日目は、朝から 4 件の一般講演が行われた後、熊本大学の田原春徹先生より「ポリロタキサンの動的特性を活用した肝標的リガンドの構築」という演題で若手招待講演が行われ、その後ランチョンセミナーが株式会社シクロケム様の提供で行われました。午後からは 18 件のポスター発表が行われ、続く特別招待講演では、東京大学の山田鉄兵先生が「シクロデキストリンのホスト-ゲスト反応を利用した熱化学電池と電気化学冷却」という演題でご講演されました。その後、2 件の一般講演が行われ、盛会のうちに全発表プログラムが終了しました。



本シンポジウムの開催にあたり、神戸大学大学院医学系研究科、日本応用糖質科学会、日本素材物性学会、日本糖質学会、日本薬学会、日本薬剤学会、高分子学会、日本分析化学会、日本分光学会、ホスト-ゲスト・超分子化学研究会、有機合成化学協会、日本化学会、日本農芸化学会より共催、協賛、後援のご協力をいただきました。また、株式会社シクロケム、株式会社シクロケムバイオ、COSANA テニスアカデミー、和研薬株式会社、株式会社リードヘルスケア、塩水港精糖株式会社、千寿製薬株式会社、株式会社東陽テクニカ、ナガセケムテックス株式会社、日本シクロデキストリン工業会、日本食品化工株式会社、ハウス食品グループ本社株式会社、広瀬化学薬品株式会社様より多大なご支援を賜り、本シンポジウムを開催することができましたこと、深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、ご発表・ご参加いただきました皆様、座長・賞審査を快くお引き受けいただきました先生方に感謝申し上げます。また、本シンポジウム開催にあたりご指導を賜りました、前会長の寺尾啓二様（株式会社シクロケム）と新会長の袁徳其先生（神戸学院大学）に厚くお礼申し上げます。そして、準備から当日の運営までご協力いただきました神戸大学および神戸学院大学の学生の皆様、ならびに本学会事務局の三田敦巳様、その他、本シンポジウムの開催にご尽力いただきました全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。本シンポジウムを盛会のうちに開催できたのは、皆様のご支援・ご協力を賜りました関係各位のお力添えによるものです。ここに改めて深謝申し上げますとともに、本シンポジウムで得られました研究交流が、今後のシクロデキストリン研究ならびに関連研究分野のさらなる発展につながることを期待いたします。

第 42 回シクロデキストリンシンポジウム実行委員会

実行委員長： 大谷 亨（神戸大学）

実行委員： 生田直子（神戸医療産業都市推進機構）、石田善行（株式会社シクロケムバイオ）、近本啓太（株式会社シクロケムバイオ）、山口浩靖（大阪大学）、加藤和明（京都工芸繊維大学）、瀧本竜哉（神戸学院大学）